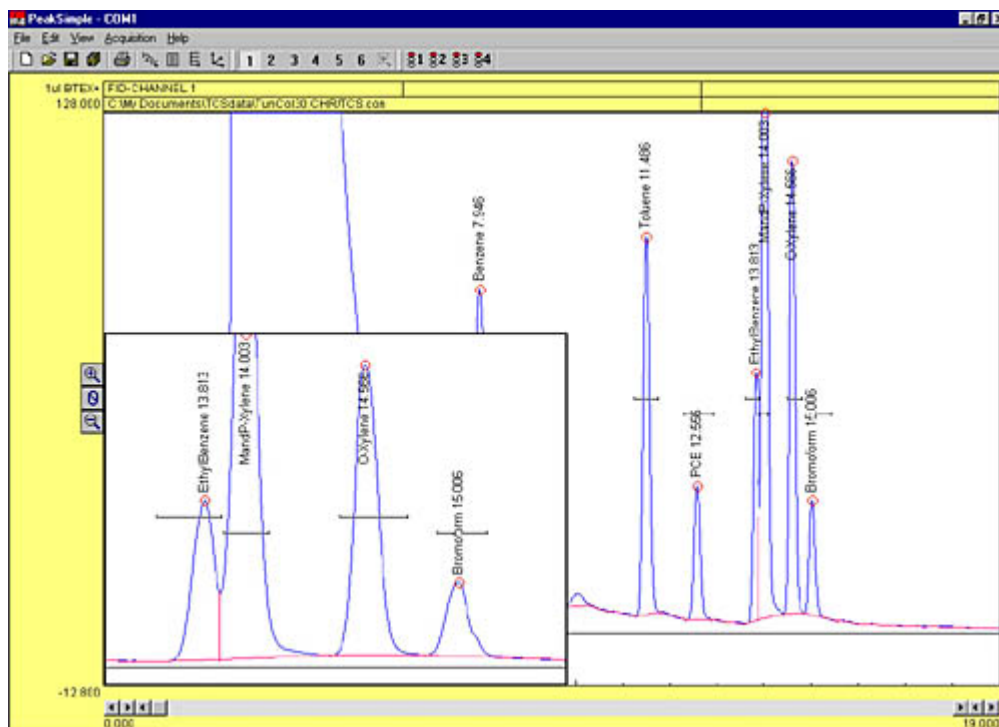




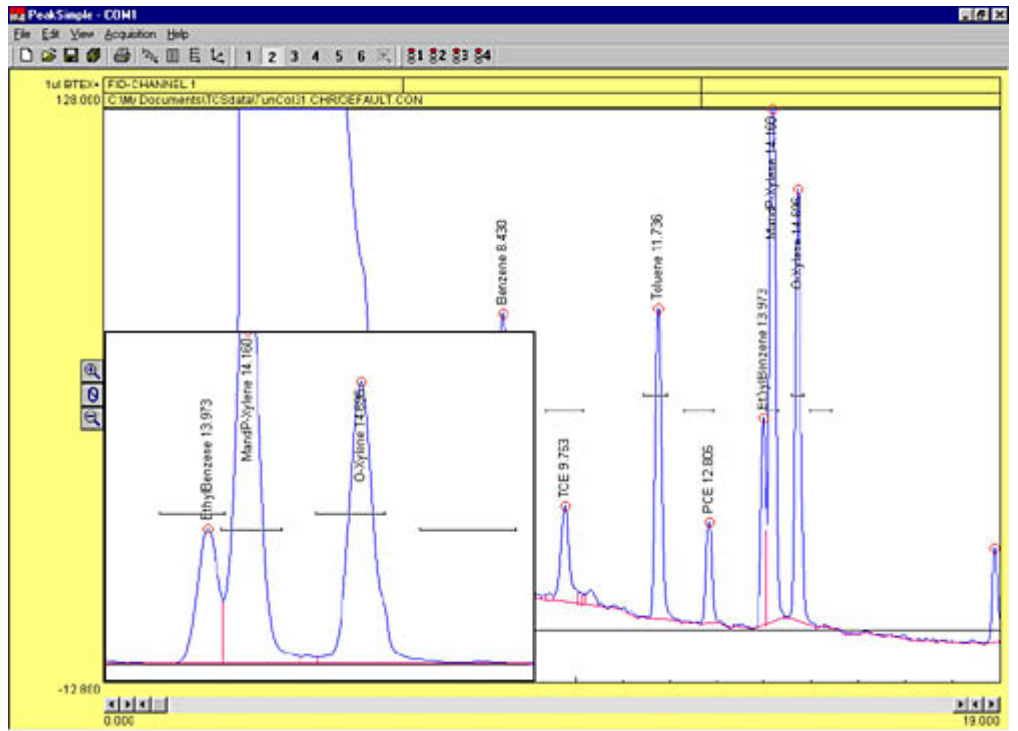
- SRI 8610D 本体
- FID 検出器
- デュアルオンカラム注入口
- 個別温度制御デュアルカラムオープン
- エアーコンプレッサー内蔵

この効果的カラム選択ガスクロシステムは、直列に接続した二本のカラムの温度を様々に変えて効果的にカラム選択を調節できるシステムです。#1 オープンにセットされた最初のカラムは無極性の 15m キャピラリーカラムです。#2 オープンにセットされた第二カラムは強極性カラム ( Wax 系 ) です。各々のカラムの温度及び昇温速度を個別にコントロールすることによって二本のカラムの極性が効果的に調和されるので、全体的な分離が制御されます。このシステムはキャリアーと FID 追補ガスに使用する空気を供給するためのエアーコンプレッサー、二個のオンカラム注入口、FID 検出器で構成され、PeakSimple ソフトで制御されています。

右のクロマトグラムは BTEX と臭素の混合試料を分析したものです。極性カラムを昇温している間に無極性カラムは恒温で分析しています。



150 での臭素のピークは良好に *o*-キシレンと分離していますが、右のクロマトグラムのように 180 では *o*-キシレンと重なってしまいます。



最後のクロマトグラムは極性カラムを昇温すると、*m*-,*p*-キシレンのベースライン分離はもとより臭素/*o*-キシレンの分離も劇的に向上します。このような分離は他のシステム、カラムでは得られないものです。

